

平成27年度 出雲農林高校「授業改革」について

1 改革の方向性

- 「スパイラル学習」の構築・・・「教える授業」と「考える授業」のバランスをとる
(基礎力+思考力・表現力・主体性の育成)

- ・基礎・基本の徹底
- ・専門性の向上
- ・学習意欲の向上
- ・家庭学習の習慣化

【スパイラル学習とは】

- ・ミクロスパイラル：1時間、1単元の授業の中で教員が教える部分と生徒が考える部分とのバランスを考え、基礎力の定着と思考力・表現力の育成、学習へのモチベーションアップを図る。
- ・マクロスパイラル：座学と実習、学校での学習と家庭での学習を有機的に関連させることにより、確かな知識・技能を身に付けさせる。



ミクロスパイラルとマクロスパイラルを上手くかみ合わせることで、基礎力と思考力・表現力・主体性の育成が図れるような好循環を確立する。

- 特別支援教育の視点の導入
 - ・自己肯定感を高める授業
 - ・わかりやすいユニバーサルな授業
 - ・授業規律・環境の整備

2 手だて

- リーダー教員を中心とした計画的な授業研究の実施
- 公開授業週間の設定（1学期：6/15（月）～19（金）、2学期：12/7（月）～11（金））
- 研修機会の確保（各教科：年1回の校外自主研修）

3 評価

- 研究授業後の合評会の実施
- 簡易で効率的なフィードバックの実施（ポストイットを使った評価）
- 生徒による授業評価の実施（年2回程度）

4 改善

- 評価に基づく改善点の明確化
- 改善計画の立案